

SpamSieve 3.2の変更点

2025/9/20

ハイライト

Apple Mail: トレーニングコマンド

SpamSieve 3.1.3 はすでに macOS Tahoe 26 に対応していましたが、バージョン 3.2 ではさらに更新と最適化を行いました。Tahoe のベータ版は順調に進み、リリース版もすでにアップデートした SpamSieve ユーザーの大部分で期待どおりに動作しましたが、ごく一部のユーザー（すべて POP メールアカウントを使用している）が、Apple Mail のエラーによりスパムフィルタリングが中断される問題を報告しています。（これらの Mac では、SpamSieve が Mail にメッセージを迷惑メール（Junk）メールボックスへ移動するよう依頼しても移動されません。）これは限定的なケースに見えますが、Tahoe へアップデートするタイミングを判断する際にこの状況を知っておいていただきたいと思います。今後さらに調査を進め、Apple にバグレポートを提出し、回避策の開発を試み、サポートページに更新情報を掲載します。

SpamSieve のフィルタリング精度を改善するためにさまざまな変更を行いました。

設定: Apple Mail トレーニング

Mac から離れているときや、SpamSieve と直接統合されていない Mac 用メールクライアントを使用しているときに SpamSieve をトレーニングできる機能が組み込まれました。

設定 ▶ Apple Mail ▶ Training ウィンドウに移動し、**TrainSpam** および **TrainGood** にメッセージをトレーニングするオプションを選択すると、iPhone（または他のデバイス）から特別な TrainSpam または TrainGood メールボックスにメッセージを移動することで、SpamSieve をトレーニングできます。

単にスパムメッセージを削除して受信箱から取り除くと、それらを良いメッセージだと SpamSieve が誤解してしまい、フィルタリング精度が低下します。これまで、Mac に戻ったときに受信箱内のスパムメッセージをトレーニングすることを推奨していました。今では、リモートで SpamSieve をトレーニングでき、すぐにスパムを視界から消すと同時に、今後のメッセージのフィルタリング精度を向上させます。この仕組みについての詳細は、マニュアルの「Drone セットアップとリモートトレーニング」のセクションに記載されています。旧来のリモートトレーニング用 AppleScript とルールを使用していた場合は、マニュアルの「レガシー AppleScript」セクションに記載されている手順に従ってアンインストールできます。

設定: Outlook

2025 年 11 月 1 日に、Microsoft は Outlook から AppleScript サポートを削除します。

これが復活するまで（現在 2025 年 12 月に予定されています）、SpamSieve は Outlook と直接連携できません。ただし、Apple Mail 経由でメールをフィルタリングしたり、Outlook 経由で（上記のリモートトレーニングを通じて）トレーニングすることは引き続き可能です。この件に関する詳細は、マニュアルの「旧来の Outlook サポート終了」セクションに記載されています。設定 ▶ Outlook ▶ Setup ウィンドウには、Outlook フィルタリングが有効な場合、このヘルプページへのリンクが表示されるようになりました。

macOS Tahoe 26

SpamSieve ダーク

SpamSieve のアプリケーションアイコンを macOS Tahoe 26 および新しい Liquid Glass デザイン言語に対応させました。もう「スクワークル刑務所」に閉じ込められることなく、macOS の外観を変更すると、ダーク・クリア・ティントのアイコンスタイルに適応します。

SpamSieve の Dock アイコンの左上隅は、現在のトレーニングやフィルタリングのステータスを表示するために変化していました。しかし、このようなバッジ表示は新しい Liquid Glass の外観テーマでは適切に動作しないため、SpamSieve はこれらのステータス変更を、システム標準の赤いバッジを使って Dock アイコンの右上隅にグリフとして表示するようになりました。（これらは、システム設定 ▶ 通知 ▶ SpamSieve ▶ アプリケーションアイコンにバッジを表示 をチェックしている場合にのみ表示されます。）

メッセージメニュー

各メニュー項目に画像を追加しました。

ウィンドウツールバーの外観を更新しました。

「不確実なスパムメッセージ」と「スパム捕捉戦略」のスライダーは中立値を表示し、色調の強調が調整されました。

設定: 通知

セキュリティコード自動入力（AutoFill）は関連しないため、テキストフィールドでは無効化しました。

コーパス、ブロックリスト、許可リスト、ログ

大量のルールやログ項目を選択・削除する際の速度が向上し、メモリ使用量も大幅に削減されました。

コーパスおよびログウィンドウにて、送信者名に加えて「From アドレス」も表示されるようになりました。これにより、一目でどのメッセージがスパムか判断しやすくなります。

コーパス: スпамメッセージ

コーパス、ブロックリスト、許可リスト、ログウィンドウに表示される日付には、曜日や時刻をフル表示するツールチップが追加されました。また、「From」と「Subject」の列にも、テキスト全体が収まりきらない場合に備えてツールチップが追加されました。

ログウィンドウ

ログ内の自動トレーニング項目に、そのメッセージが当初どのように予測されたのかを示す理由が表示されるようになりました。

アプリ全体で検索フィールドのサイズ調整とツールバーオーバーフローの挙動を改善しました。

ログウィンドウからクリップボードにコピーする際のルール変更の説明を改善しました。

ブロックリスト

送信者名に一致するルールが、Unicode 幅の異なるアジア文字を含んでいる場合に一致しない可能性があったバグを修正しました。

SpamSieve がデータベースファイルを開く際に問題が発生した場合、より多くのエラー情報を報告するようになりました。

設定

設定: 詳細

マニュアルに「SpamSieve のメニューバーアイコンはどこにありますか？」のセクションを追加し、設定 ▶ 詳細ウィンドウからリンクできるようにしました。

「メールクライアント終了時に終了」機能が MailMaven でも動作するようになりました。

同時に 2 つのプロセスが SpamSieve を起動した結果、設定ウィンドウが開いてしまうのを防ぐための変更を行いました。

Apple Mail

SpamSieve の Mail プラグインをアンインストールした際、Mail の終了によって自動終了しなくなりました。

Mail がメッセージのメタデータを誤って報告した場合に再処理されるのを防ぐため

の回避策を追加しました。

Mail が処理に詰まっているときに SpamSieve が受信箱一覧を読み取ろうとする際のエラーレポートを改善しました。

「Apple Mail - Rescue Good Messages」スクリプトは、メッセージがゴミ箱に移動されても未読のまま残る原因となる Mail のバグを回避しようと試みます。

ドキュメント

ヘルプメニュー

macOS Tahoe 26 向けにドキュメントとスクリーンショットを更新しました。

マニュアルの以下のセクションを改善しました:

- SpamSieve は Web バグを防止しますか？
- Apple Mail が遅くなっている場合
- 既読にする
- 要件
- MailMate Drone の設定
- Outlook（大規模受信箱）の設定
- Outlook の設定
- メニューバーアイコンの表示
- 新しい Outlook の無効化
- SpamSieve がスパムを捕捉しないのはなぜ？

一般

SpamSieve メニューバーアイコン

オランダ語、フランス語、ドイツ語、日本語、韓国語、スペイン語のローカライズを更新しました。

Xcode 26 の Swift Concurrency の変更に対応しました。

許可リスト

Xcode 26 のバグに対応し、Intel Mac 上の macOS 12 で起動時にクラッシュする可能性を回避しました。

Xcode 26 のバグに対応し、Intel Mac 上の macOS 10.13 で起動時にクラッシュする可能性を回避しました。